

美術

教科の目標	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう表現の基礎となる力をつける。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさなどについて考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めていく。</p> <p>(3) 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育み、美に対する感性を養い、主体的に表現することの楽しさ、喜びを味わう。</p>
-------	---

評価規準

評価の観点	評価基準	評価方法
知識・技能	<p>○表現における基礎的な技能を身に付け、それを生かして意図に応じて見通しをもった創造的な作品制作をしている。</p> <p>○作品制作において、発想から完成までよりよい表現のための工夫がなされている。</p>	<p>・作品制作途中の技能</p> <p>・完成作品</p> <p style="text-align: right;">等</p>
思考力・判断力・表現力	<p>○感じ取る感性、発想力、イメージを浮かべる能力等をもとに、創造的な攻勢を工夫して表現する構想を練っている。</p> <p>○色や形、材料などに注目して、造形的な美しさ、よさや個性などを感じ取り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。</p>	<p>・作品制作途中のアイデアスケッチ</p> <p>・鑑賞のレポート</p> <p style="text-align: right;">等</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○自ら積極的に取り組む意欲を持ち、創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・振り返りカード</p> <p>・提出物の提出状況</p> <p>・授業の取り組み状況</p> <p style="text-align: right;">等</p>

使用教科書・教材

美術2・3上 美術2・3下 (日本文教出版)	○美術資料(秀学社)	○各種材料
------------------------	------------	-------

美術科学習へのアドバイス

<p>・美術は「色」と「形」があるものすべてに関わります。そういった意味では身の回りには、美術があふれています。美しいもの、面白いものなど、身の回りのものに好奇心を持って、みて感じていきましょう。それが自分の感性を磨くことにつながり、表現活動につながっていくと思います。</p>

【第3学年】 標準授業時数35時間

月	題材	ねらい	主な指導内容
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議な世界(点描) 〔絵画〕 ・日本の仏教美術 〔鑑賞〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや空想したものから、効果的な画面構成を工夫させる。 ・点の集まりによって表現する微妙な調子を理解し、表現に生かす。 ・日本の伝統的な美術の1つとして関心を持つ。 ・文化遺産を尊重する心を育くむ。 ・作品の鑑賞を通して、よさや美しさを味わう。 ・日本の仏教美術の基礎知識を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの生かし方 ・主役、脇役の画面配置 ・点描の効果的な表現 ・鑑賞の仕方 ・仏教美術の鑑賞の仕方 ・日本の仏教美術の流れ ・仏像の技法や表現 ・建築物など、仏像以外の鑑賞 ・文化施設での鑑賞方法やマナー
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の印を作ろう(てん刻) 〔彫刻・デザイン・工芸〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・てん刻という条件を考えに入れた個性的なデザインを工夫する。 ・握り手の部分は持ちやすさも考えてデザインし、立体をどう把握していくかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陰刻、陽刻について・篆刻のデザインについて ・材料、用具の効果的な生かし方 ・丸彫りの方法 ・研磨仕上げについて
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・15才の私(自画像) 〔絵画〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の内面を表現することに関心を持ち、構想を練る。 ・今の自分を表現するために画面構成などを工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現意図に合った表現技法の工夫と選択 ・配色、構図の工夫 ・計画的な製作 ・鑑賞の仕方